

2023年4月4日
東日本旅客鉄道株式会社

新しい Suica 改札システムの導入開始について

- JR東日本では、2023年度から「センターサーバー方式」を採用した新しい Suica 改札システム（以下「本システム^{※1}」）を導入し、Suica 共通基盤化を推進します。
- 本システム導入によりサービス機能の拡張性や処理スピードを向上し、多様化するニーズに対応した「新しい Suica サービス」の提供を実現することにより、グループ経営ビジョン「変革 2027」で目指すシームレスな移動と多様なサービスのワンストップ化を目指します。

※1. 本システムは株式会社 IC カード相互利用センターが所有するシステムです。

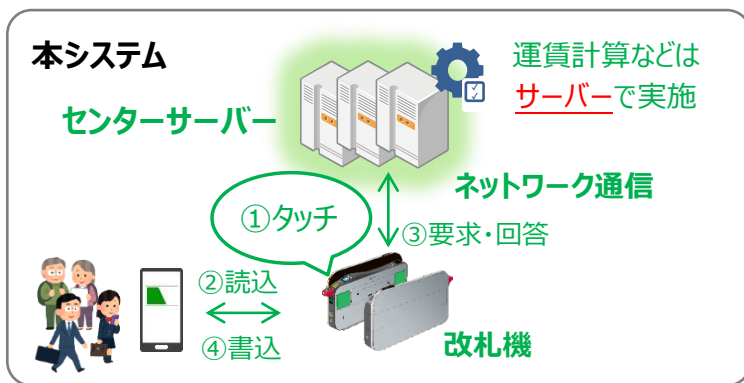
1. 本システムの導入

(1) 本システムの概要

運賃計算などの処理は全てセンターサーバーで実施します。なお、本システムを導入した改札機についても Suica のご利用方法は変わりません。



⚙️: 「運賃計算など」の処理を実行する機能



(2) 導入予定エリア・時期

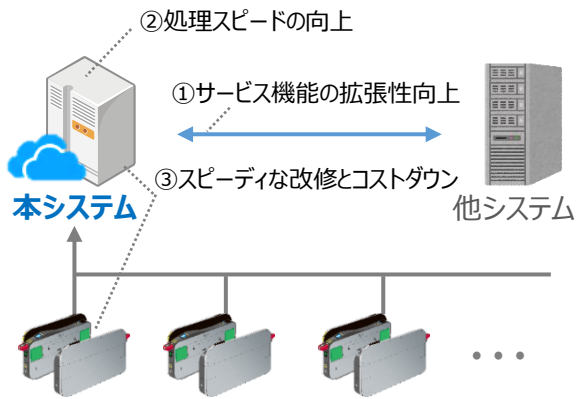
5月27日（土）から北東北3エリアの45駅に本システムを導入します。なお、首都圏・仙台・新潟エリアについては夏以降に順次導入を進めます。

エリア	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
北東北3エリア ^{※2} (青森・盛岡・秋田)	▼5・27 導入			
首都圏・仙台・新潟エリア	▼2023年夏以降に順次導入 →			

※2. 5月27日（土）から北東北3エリアにおいて「Suica」を使った出改札サービスを開始します。

(3) 本システムの特徴

高速なサーバーおよび通信ネットワークにより、首都圏の鉄道利用に求められる高速な処理に対応します。主な特徴は以下のとおりです。



- ① サービス機能の拡張性向上
サーバー台数の変更や他サーバーシステムとの連携などにより、サービス機能の拡張性が向上する
- ② 処理スピードの向上
現行の改札機とくらべ、処理スピードが速くなり、複雑な計算処理が可能となる
- ③ スピーディな改修とコストダウン
将来の機能向上などの改修作業において、工期短縮がはかられ、コストダウンにつながる




2. 本システム導入による Suica サービスの将来像

(1) Suica サービスの将来像

本システムや鉄道チケットシステム^{※3}の導入を通じ、これまでの Suica サービスを革新するプラットフォームを整備します。それにより、これまでの Suica サービスに加えて「新しい Suica サービス」の提供を可能とし、JR 東日本グループをシームレスにご利用いただける「Suica サービスの将来像」の実現を目指します。（ご利用イメージは次ページ参照）

Suica サービスの将来像

これまでの Suica サービス

- ・Suica が 1 枚あれば、お子さまからお年寄りまで、誰でもタッチするだけで手軽に利用できる
- ◆ Suica の仕組み
IC カードにデータを記録 (記憶容量に限りあり)
- ◆ 主な Suica サービス
 - 
首都圏における
IC 連絡定期券
 - 
S F チャージの
全国相互利用
 - 
交通系電子マネー
の全国相互利用

これまでの Suica サービスに加えて「新しい Suica サービス」の提供を目指す

- ◆ サービス面の特徴
 - ・Web やスマホとの親和性が高く、いつでも手軽に商品を購入できる
 - ・購入した商品などは Suica をタッチして認証により手軽に利用できる
 - ・会員向けサービスへの対応、業態をまたがる柔軟な商品設定などができる

(今回)

プラットフォームを整備


本システム

(将来)


鉄道チケットシステム

多様なニーズに対応
シームレスなサービスを提供


事前購入
(Web・スマホ)



Suica と紐づけ
(Web・スマホ)




タッチ
Suica



入場

タッチ
Suica



出場

Suica とチケット情報を
組み合わせた処理など

※3. サーバー上でチケット情報などを管理するシステム (Web やスマホとの親和性向上、記憶容量の課題が解消)

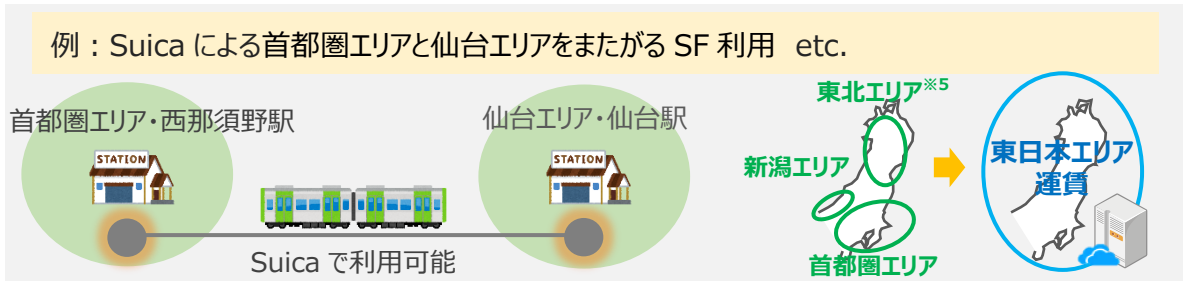
(2) 「新しい Suica サービス」のご利用イメージ

将来、提供を目指す「新しい Suica サービス」のご利用イメージは以下になります。

「新しい Suica サービス」の内容および開始時期は、詳細が決まり次第、別途ご案内します。

① 本システムの導入により実現できるサービス

(a) Suica エリアの統合など

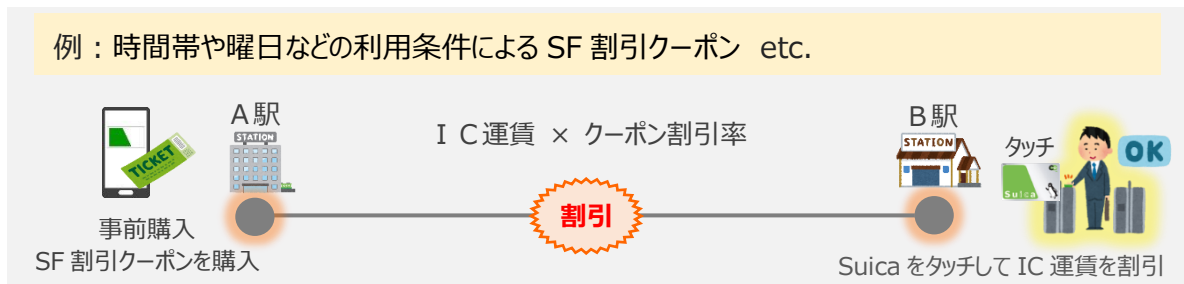


※4. 現在、首都圏エリアと仙台エリアをまたがる区間（東北本線では黒磯駅～矢吹駅間）は Suica を利用できません。

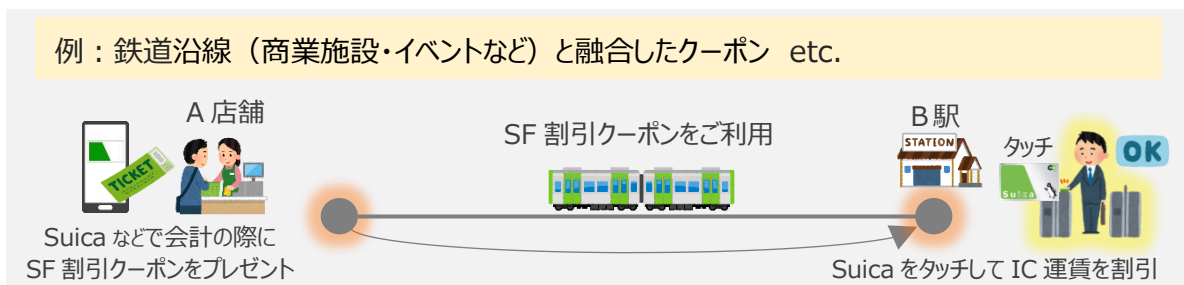
※5. 東北エリアとは、仙台エリア、青森エリア、盛岡エリア、秋田エリアを示します。

② 鉄道チケットシステムの導入により実現できるサービス

(a) 鉄道における柔軟な SF 割引商品の提供



(b) 生活サービスと移動を融合した商品の提供



(c) ワンストップでシームレスな移動の提供

